

4月号から2019年の3月号までで「ぶんぶく茶釜」の物語が完成します。色を塗り、紙芝居を作ってみましょう。

こうして、「ぶんぶく茶釜の綱  
渡り」は大評判になりました。  
見世物小屋には、毎日たくさ  
んの見物客が詰めかけました。  
古道具屋は大金持ちになり、  
これまでひとりぼっちだった  
タヌキもさびしくなくなりま  
した。  
そうして二人はいつまでも、  
仲良く暮らしたのです。  
めでたし、めでたし。

